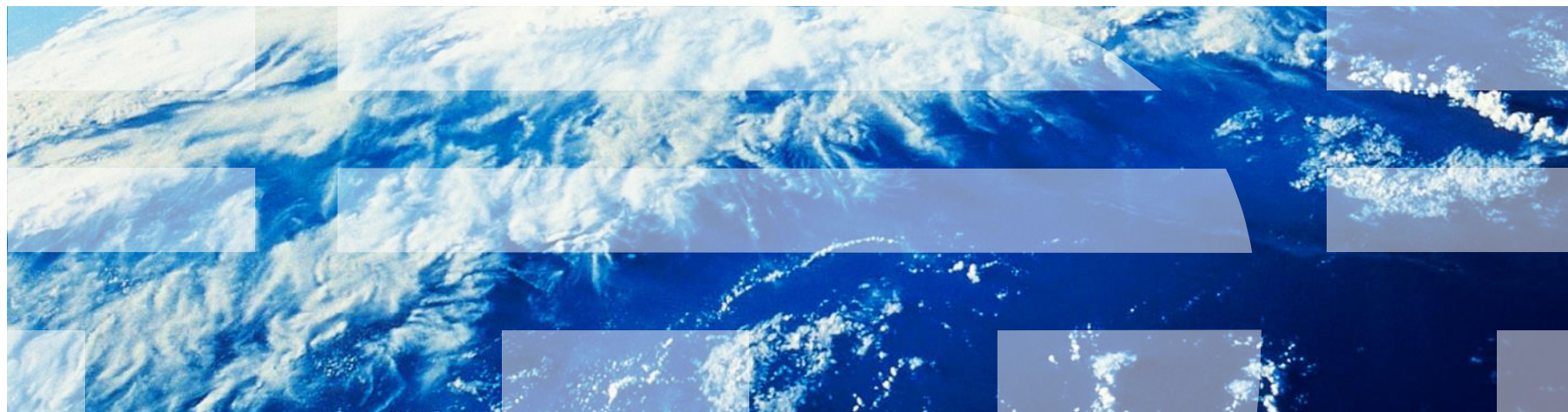


IBM Worklight V6.1.0 **入門**

Dojo ベースの Mysurance エンドツーエンド・サンプルを実行



商標

- IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- この資料は、事前に IBM の書面による許可を得ずにその一部または全部を複製することは禁じられています。

IBM について

- <http://www.ibm.com/ibm/us/en/> を参照してください。

アジェンダ

- 一般情報
- Mysurance エンドツーエンド・サンプル (Android 用) の実行
- Mysurance エンドツーエンド・サンプル (iOS 用) の実行

このタスクについて

- Mysurance サンプル・アプリケーションは、エンドツーエンドの保険シナリオを例証するハイブリッド・サンプル・アプリケーションです。
- Mysurance サンプル・アプリケーションには 2 つのプロジェクトが用意されています。
 - module_60_2_Mysurance は、Android と iOS の両方のクライアント・プラットフォーム向けのプロジェクトです。
 - module_60_2_MysuranceWar は、アプリケーション・サーバー上で実行される Web プロジェクトです。
- Mysurance サンプル・アプリケーションはハイブリッド・サンプル・アプリケーションです。ハイブリッド・アプリケーションは、HTML、CSS、JavaScript™ など、Web テクノロジーで開発されたアプリケーションで構成されます。
 - JavaScript 呼び出しは、JavaScript ネイティブ・ブリッジ内に呼び出されます。
 - このブリッジにより、ハイブリッド・アプリケーションは、ネイティブ・デバイス機能 (GPS やカメラなど) にアクセスしたり、ネイティブ・デバイス UI コントロール/ナビゲーションを使用したりできます。

このタスクについて

- このアプリケーション・スタイルにより、開発者は既存の Web スキルを使用できます。他の言語 (Objective-C や Java™ など) でプログラミングする方法を学ぶ必要はありません。
 - また、開発者は、多種多様なプラットフォーム向けに複数バージョンの同一アプリケーションを作成することから解放されます。
 - ハイブリッド・アプリケーションのパフォーマンスとルック・アンド・フィールは、純粋なネイティブ・アプリケーションのものと同等になる傾向があります。
- Mysurance サンプル・アプリケーションは、エンドツーエンドの保険シナリオにおいてハイブリッド・アプリケーションの各種機能を例示する企業消費者間の例です。
 - このシナリオでは、道路交通事故に巻き込まれた個人を対象にしています。
 - この個人は、関連情報をオンサイトで記録してドキュメント化し、必要な証拠書類を今後の処理のために保険会社に提出できます。

アプリケーション・サーバーの始動

- この作業は、情報をサービスに送信する操作をお客様にさせたい場合にのみ必要となります。
- 以下の指示に従ってサービスを開始します。
 1. `module_60_2_MysuranceWar` で提供されている `mysurance.war` ファイルをアクティブ・アプリケーション・サーバーにデプロイします。
 - `module_60_2_MysuranceWar` は `module_60_2_Mysurance.zip` に含まれています。
 - 詳しくは、サーバー管理ガイドを参照してください。
 2. 次の URL にアクセスして、Mysurance アプリケーションが正常に開始されたことを確認します。

`http://<host>:<port>/mysurance/`

次のメッセージがブラウザーに表示されます。これは、サービスが開始されて要求を受け入れる準備が整ったことを示します。

単純 index.html

GPS 機能

- GPS 機能を正常に動作させるには、WiFi データやセルラー・データを自分のデバイスで使用できるようにします。

モバイル・ブラウザ・シミュレーターで Mysurance を プレビュー

- 注: このバージョンの Mysurance は、モバイル・ブラウザ・シミュレーターではプレビューできません。
 - Mysurance では、モバイル・ブラウザ・シミュレーターでサポートされていないデータ同期が使用されています。

アジェンダ

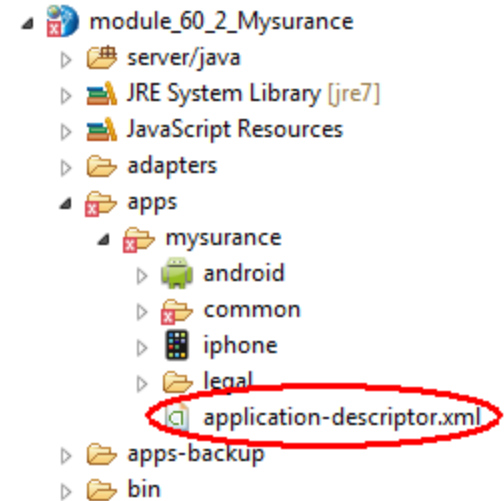
- 一般情報
- Mysurance エンドツーエンド・サンプル (Android 用) の実行
- Mysurance エンドツーエンド・サンプル (iOS 用) の実行

始める前に

- showcase のビルド方法およびデプロイ方法について以下のモジュールを参照してください。
 - Worklight 開発環境のセットアップ
 - Android 開発環境のセットアップ

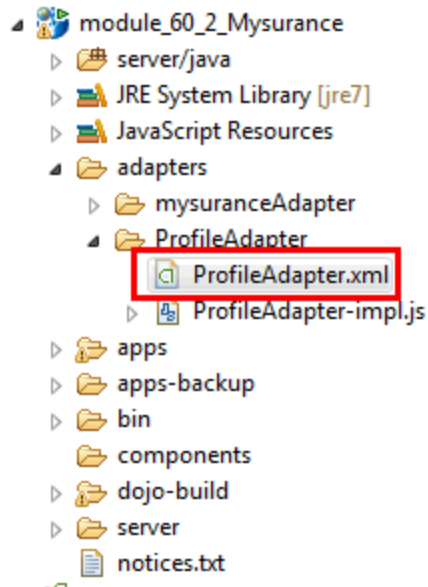
始める前に

- プッシュ通知を有効にします。
 - プッシュ通知機能では、Google Cloud Messaging (GCM) サービスが使用されます。
 - 以下の手順を実行して、GCM サービスを使用するように showcase を構成します。
 - <http://developer.android.com/guide/google/gcm/gs.html> の指示に従って GCM 送信側 ID および API キーを作成します。
 - Google Gmail アカウントを作成する必要があります (まだ取得していない場合)。
 - Android プロジェクトの /apps/mysurance フォルダーにある application-descriptor.xml を編集します。
 - 以下のエレメントを追加します。
 - `<pushSender key="API_key" senderId="GCM_sender_ID"/>`



始める前に

- 生成されたプロジェクトの /adapter/ProfileAdapter フォルダにある ProfileAdapter.xml ファイルで、<domain> エレメントを実行中の *mysurance* サーバー IP アドレス (`http://<host>:<port>/mysurance/`) に設定します。



```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<!--
Licensed Materials - Property of IBM
5725-G92 (C) Copyright IBM Corp. 2011, 2012. All Rights Reserved.
US Government Users Restricted Rights - Use, duplication or
disclosure restricted by GSA ADP Schedule Contract with IBM Corp.
--><wl:adapter xmlns:wl="http://www.worklight.com/integration" xmlns:
<displayName>ProfileAdapter</displayName>
<description>ProfileAdapter</description>
<connectivity>
  <connectionPolicy xsi:type="http:HTTPConnectionPolicyType">
    <protocol>http</protocol>
    <domain>9.181.110.33</domain>
    <port>80</port>
  </connectionPolicy>
  <loadConstraints maxConcurrentConnectionsPerNode="2"/>
</connectivity>

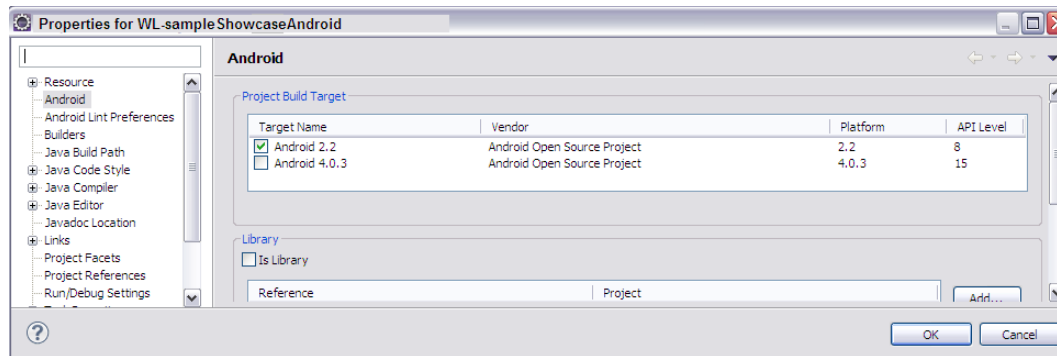
<procedure name="getAllProfile"/>
<procedure name="getProfile"/>
<procedure name="updateProfile"/>
<procedure name="removeProfile"/>
<procedure name="addProfile"/>
```

既知の制限

この Showcase には既知の制限がいくつかあります。その制限を回避する方法について以下で説明します。

■ ズーム (Android タブレット)

- Android 3.0 以降のタブレットでは、Showcase は自動的にズームされるため、ユーザー・エクスペリエンスを悪いものにします。
- ズームを無効にするには、以下の手順を実行して SDK のバージョンを 11 以上に設定します。
 - 生成された Android プロジェクトを右クリックして、「プロパティ (Properties)」をクリックします。



- プロパティ・リストで「Android」をクリックします。
- 「プロジェクト・ビルド・ターゲット (Project Build Target)」を Android 3.0 以降に変更し、「OK」をクリックします。
- 生成されたプロジェクトのルートにある AndroidManifest.xml を編集します。
 - android:minSdkVersion を「プロジェクト・ビルド・ターゲット (Project Build Target)」の API レベルに設定します。

```

</application>
<uses-sdk android:minSdkVersion="15" />
</manifest>

```

既知の制限

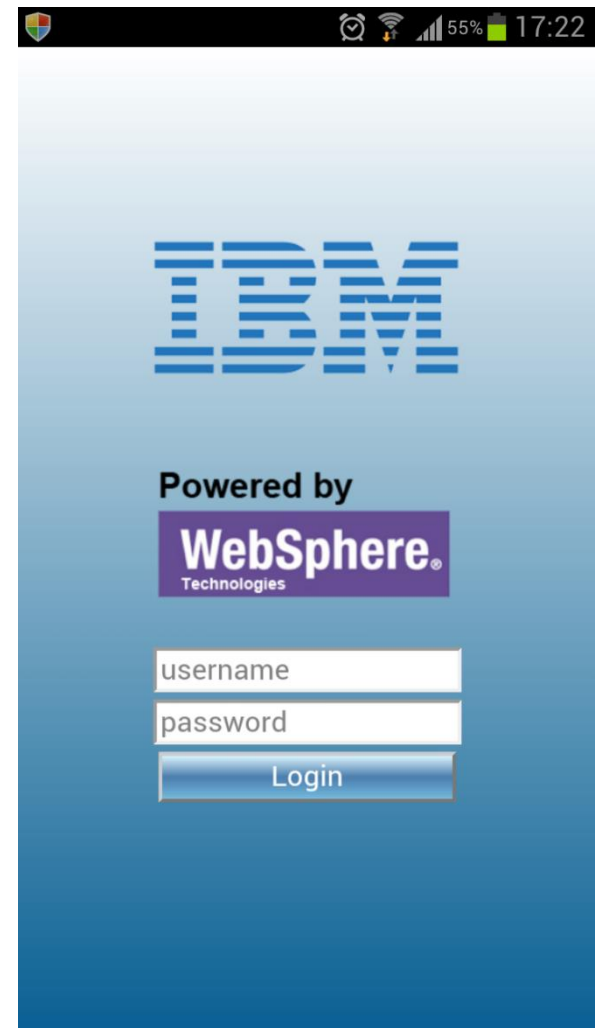
- showcase 機能を有効にします。
 - 生成されたプロジェクトのルートにある `AndroidManifest.xml` を編集します。
 - 以下のアクセス権エレメントを追加します。

<code><uses-permission android:name="android.permission.CAMERA" /></code>	カメラ・デバイスにアクセスできるようになります。
<code><uses-permission android:name="android.permission.ACCESS_COARSE_LOCATION" /></code>	セル ID や WiFi などの大まかな位置情報にアクセスできるようになります。
<code><uses-permission android:name="android.permission.ACCESS_FINE_LOCATION" /></code>	GPS などの精度の高い位置情報にアクセスできるようになります。
<code><uses-permission android:name="android.permission.WRITE_EXTERNAL_STORAGE"/></code>	外部ストレージに対する書き込みアクセスが許可されます。

- 既知の問題について製品のリリース・ノートも調べてください。

デモの探索

- Mysurance showcase アプリケーションをロードします。
 - ログイン画面が表示されます。
- アプリケーションにログインします。
 - ユーザー名 = demo
 - パスワード = demo
- 「ログイン」をクリックします。
 - 主画面が表示されます。



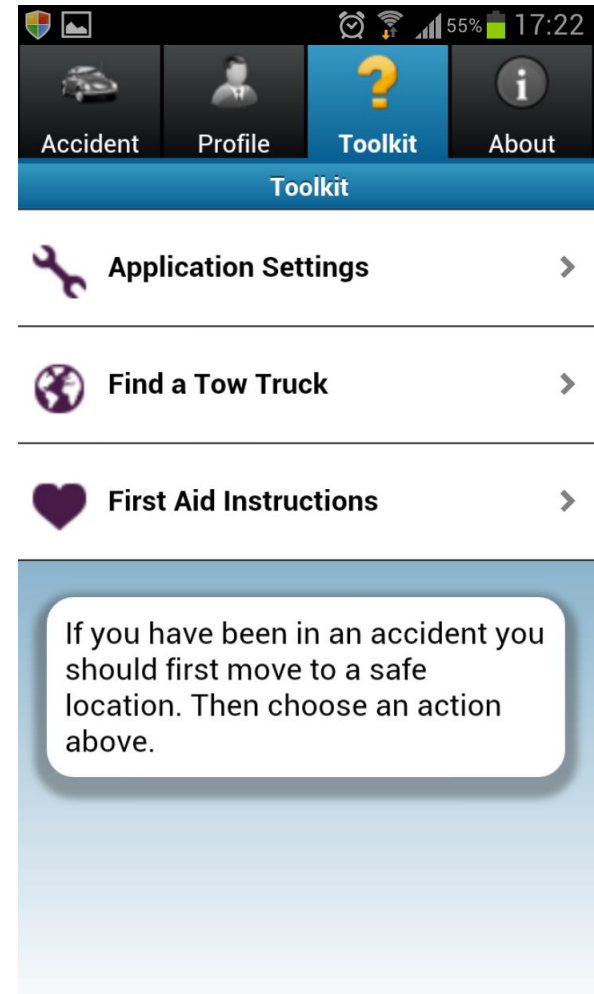
デモの探索

- 画面の上部にあるタブ・バーでは、各種デモ機能が区切られています。
- 機能は 4 つあります。
 - 概要
 - ツールキット (Toolkit)
 - プロファイル (Profile)
 - 事故 (Accident)
- 「このアプリケーションについて (About)」タブをクリックして、このアプリケーションに関する概要を読みます。



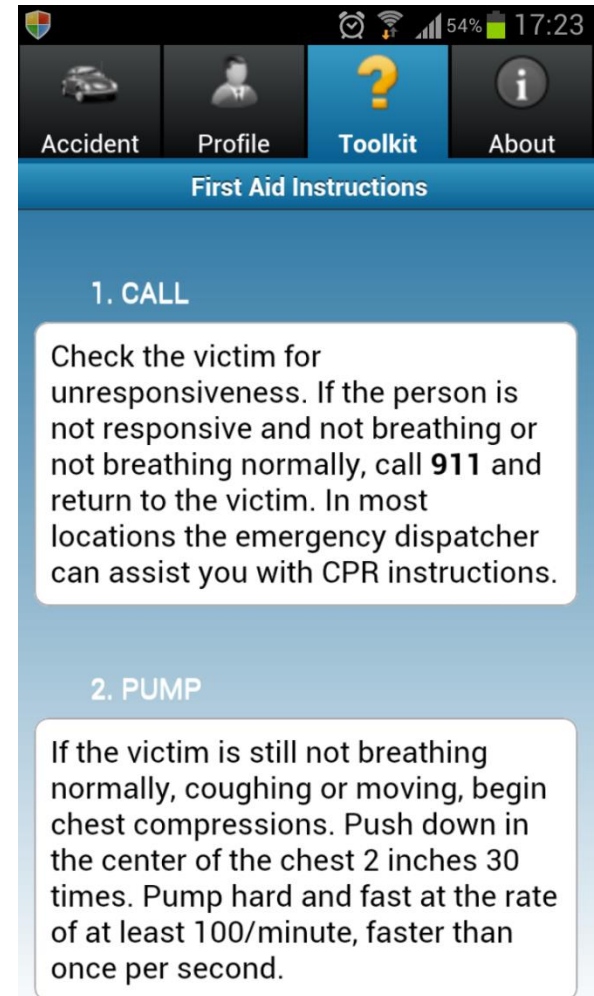
デモの探索: ツールキット (Toolkit)

- 「ツールキット (Toolkit)」 タブをクリックします。
- 機能は 3 つあります。
 - アプリケーション設定 (Application Settings)
 - レッカー車を探す (Find a Tow Truck)
 - 応急処置の指示 (First Aid Instructions)



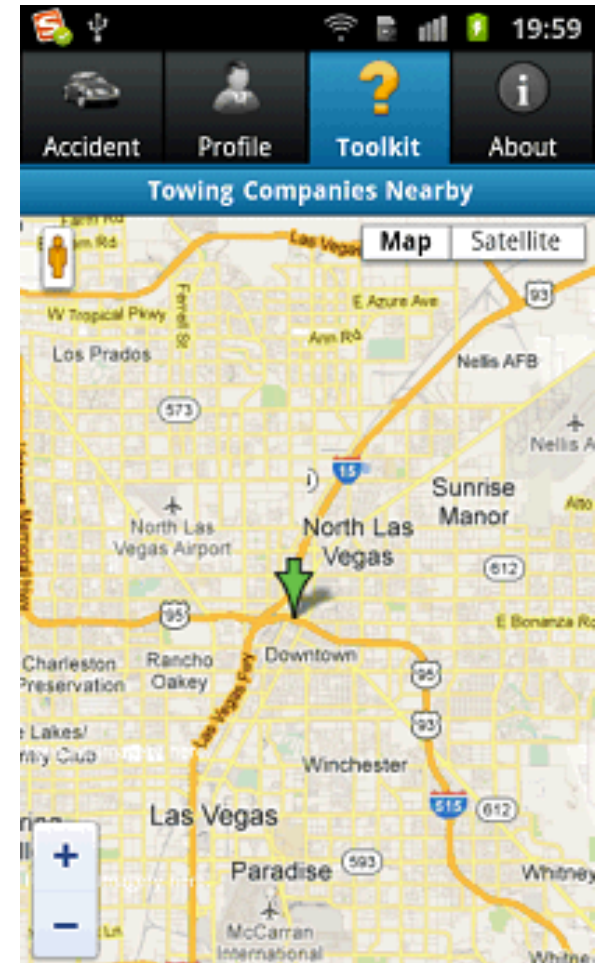
デモの探索: ツールキット (Toolkit)

- 「応急処置の指示 (First Aid Instructions)」をクリックします。
- 事故に巻き込まれたときに役立つ緊急情報や応急処置情報が表示されます。
- ビューがスクロール可能であることを確認します。



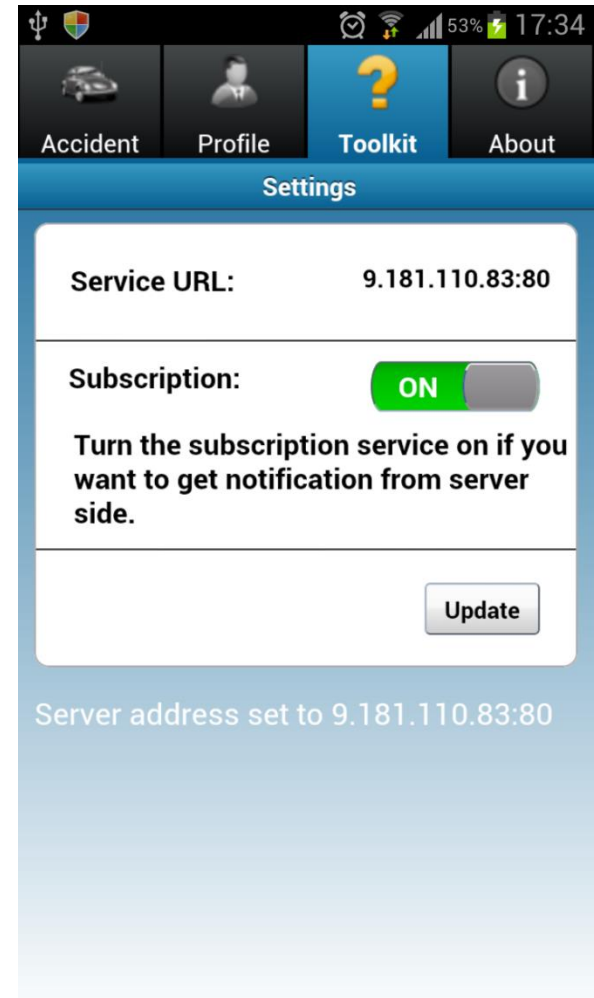
デモの探索: ツールキット (Toolkit)

- 「レッカー車を探す (Find a Tow Truck)」 をクリックします。
- Google マップに現在位置が正しく特定され*、近くにレッカー移動サービス供給業者が正しく表示されることを確認します。
- * GPS または無線ベースのロケーション機能が動作していることが前提となります。現在位置を設定できない場合は、デフォルトで Las Vegas のマップが表示されます。



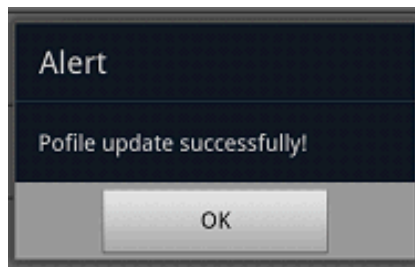
デモの探索: ツールキット (Toolkit)

- 「アプリケーション設定 (Application Settings)」をクリックします。
- 「サービス URL (Service URL)」フィールドに `<host>:<port>` の形式で正しい URL を入力します。
- 「サブスクリプション (Subscription)」スライダーを使用してサブスクリプションをオンにし、通知機能を有効にします。
- 「更新 (Update)」をクリックします。
 - 「サーバー・アドレスが `<host>:<port>` に設定されました (Server address set to `<host>:<port>`)」というメッセージが表示されます。
 - この URL が無効の場合は、「ホストにアクセスできません (host not reachable)」というメッセージが代わりに表示されます。



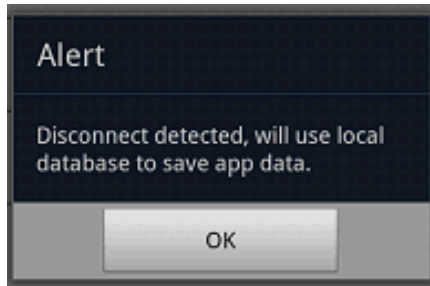
デモの探索: プロファイル (Profile) – オンライン・モード

- 「プロフィール (Profile)」 タブをクリックします。
 - IBM Worklight Server から既存のプロファイルが自動的にロードされます。
- 取得したプロフィール・データは更新できます。
 - 任意のプロフィール・フィールドを編集して、「プロフィールの更新 (Update profile)」 をクリックします。
- そのプロフィール・データが IBM Worklight Server 上で即時に更新されます。

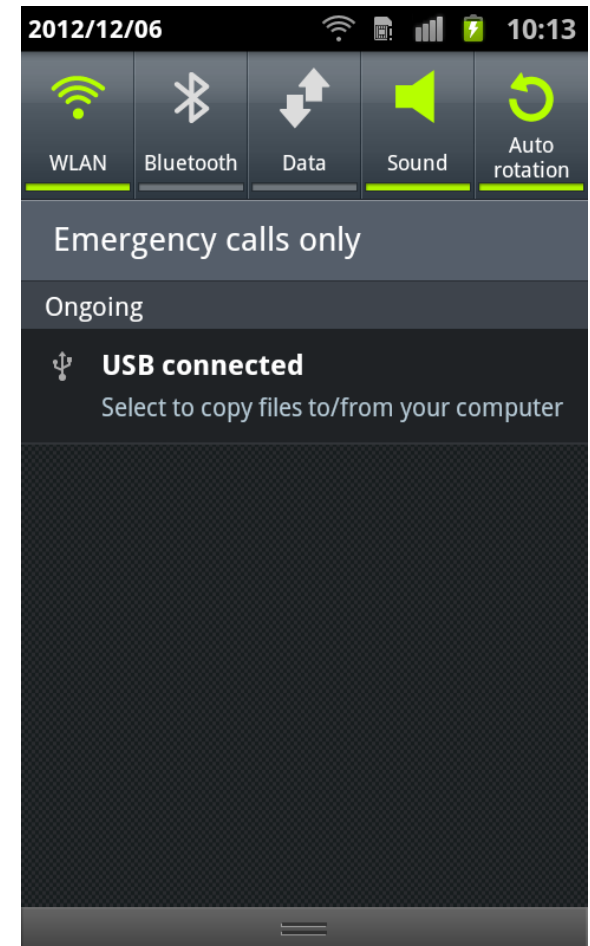
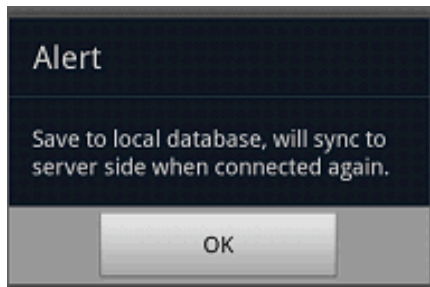


デモの探索: プロファイル (Profile) – オフライン・モード

- WiFi をオフにして、アプリケーションをオフラインにします。
 - アラートが表示され、データがローカル・データベースに直ちに保存されることが通知されます。

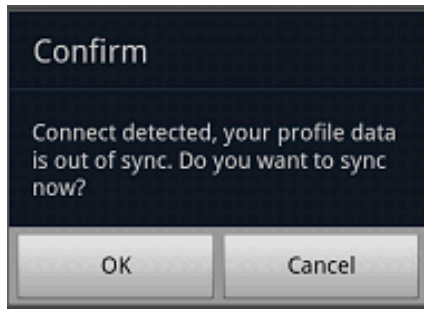


- 任意のプロファイル・フィールドを編集して、「プロファイルの更新 (Update profile)」をクリックします。
 - アラートが表示され、データがローカル・データベースに保存されたことが通知されます。

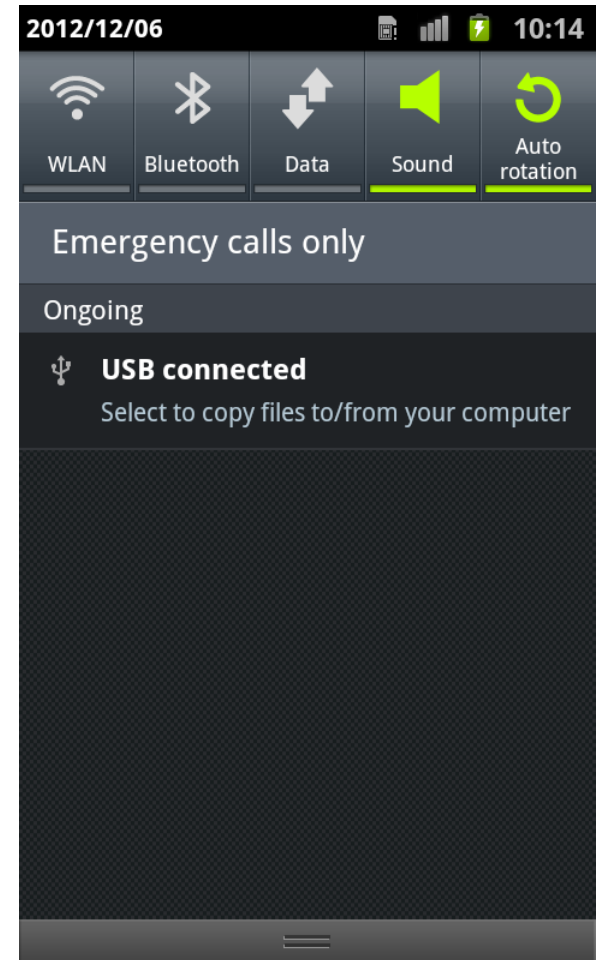
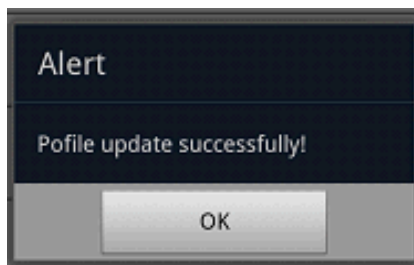


デモの探索: プロファイル (Profile) – オフライン・モード

- WiFi をオンに戻して、アプリケーションを再びオンラインにします。
 - アラートが表示され、オンライン接続が検出されたことが通知されます。

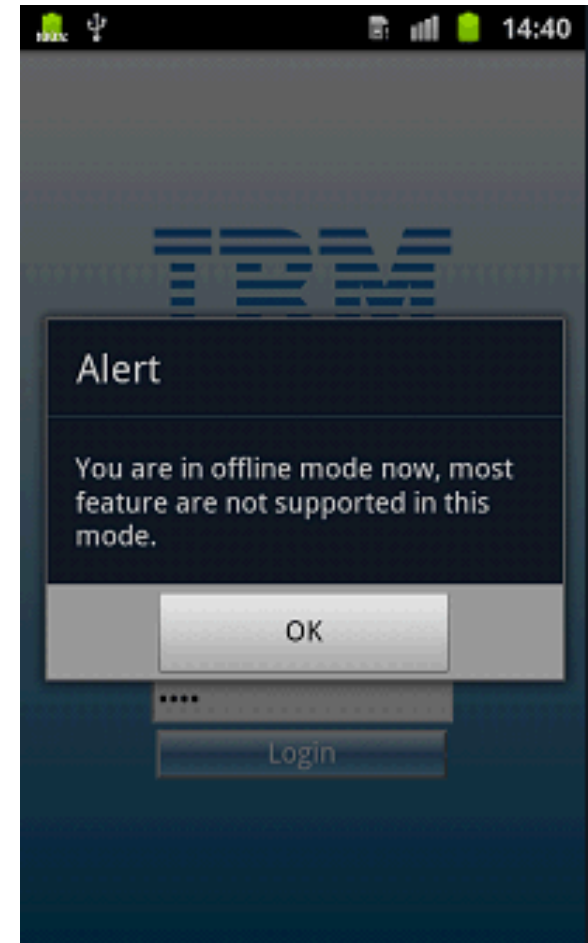


- 「OK」をクリックして、ローカル・データを IBM Worklight Server と同期します。
 - アラートが表示され、プロファイル・データが IBM Worklight Server で更新されたことが通知されます。



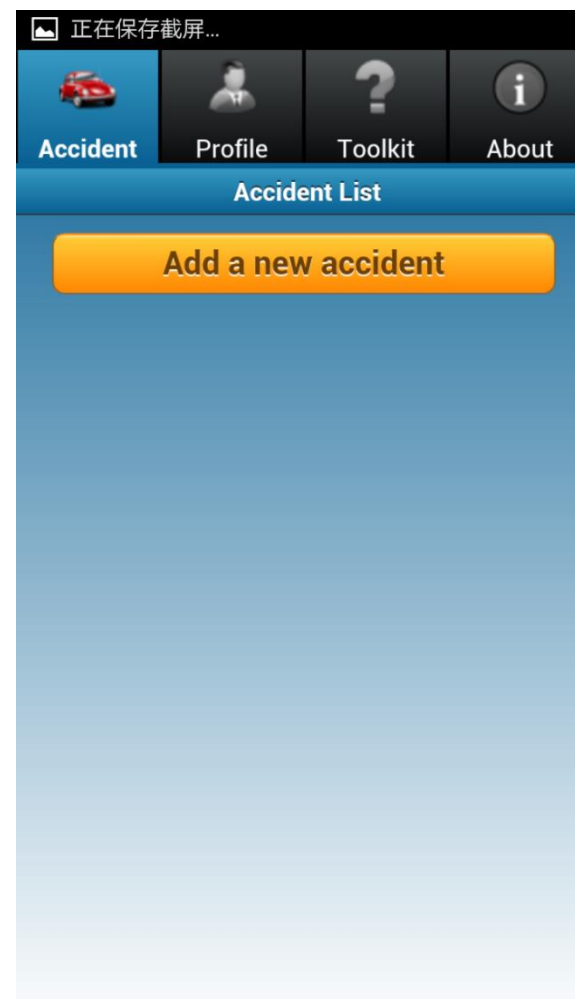
デモの探索: プロファイル (Profile) – オフライン・モード

- アプリケーションの開始時に WiFi がすでにオフになっている場合は、アラートが表示され、アプリケーションがオフライン・モードになっていることが通知されます。
- ここで、前述の説明と同じ手順に従います。
 - 任意のプロファイル・フィールドを編集して、「**プロファイルの更新 (Update profile)**」をクリックします。
 - WiFi をオンに戻して、アプリケーションを再びオンラインにします。
 - 「**OK**」をクリックして、ローカル・データを IBM Worklight Server と同期します。



デモの探索: 事故 (Accident)

- 「事故 (Accident)」タブをクリックします。
 - この機能では、事故要求を作成して送信するために必要となる手順がすべて表示されます。
- 「新しい事故の追加 (Add a new accident)」をクリックして、処理を開始します。



デモの探索: 事故 (Accident)

- ステップ 1: 事故現場を記録します。
 - 事故現場の詳細を手動で入力します。
 - または、「**現在位置の取得 (Retrieve Current Location)**」をクリックして現在位置を取得します*。
 - 「**次へ (Next)**」をクリックして、ステップ 2 に進みます。
- * GPS または無線ベースのロケーション機能が動作していることが前提となります。現在位置を設定できない場合は、デフォルトで Las Vegas の場所が表示されます。

The screenshot shows a mobile application interface for recording an accident location. The top navigation bar includes icons for Accident (a red car), Profile (a person), Toolkit (a question mark), and About (an information icon). Below the navigation bar, the title "Step1: Record Accident Location" is displayed. The form contains the following fields:

Street:	600 Las Vegas Blvd N
City:	Las Vegas
State:	Nevada
Zip:	89101

Below the form is a button labeled "Retrieve Current Location". At the bottom of the screen are two buttons: "Back" and "Next".

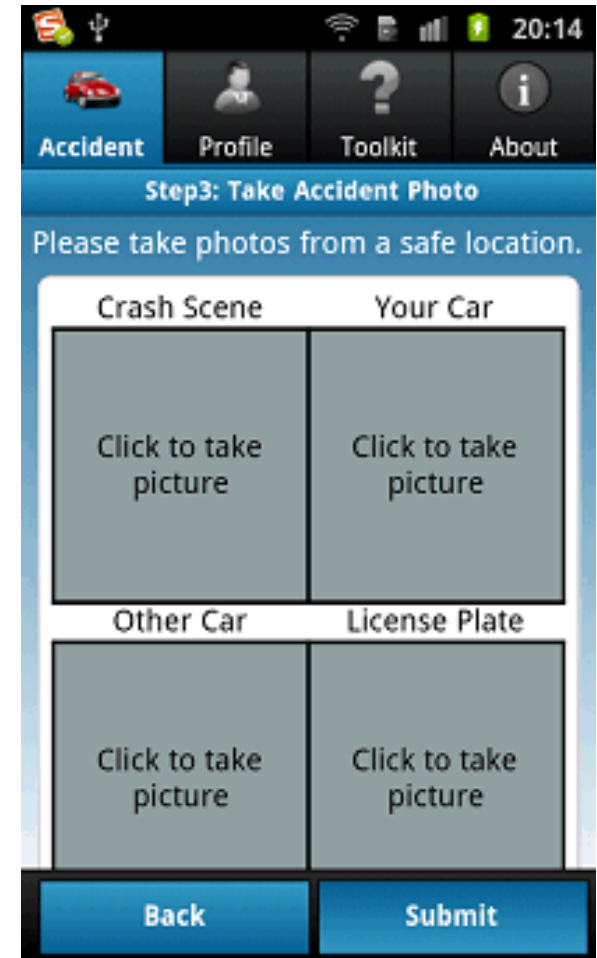
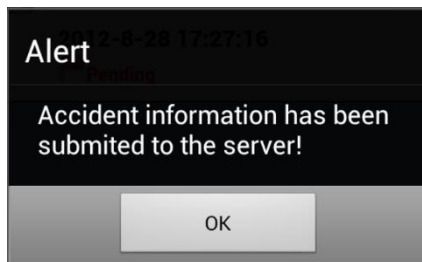
デモの探索: 事故 (Accident)

- ステップ 2: 運転手情報を記録します。
 - 運転手情報を入力します。
 - 「次へ (Next)」をクリックして、ステップ 3 に進みます。

The screenshot shows a mobile application interface for recording driver information. At the top, there is a navigation bar with four tabs: 'Accident' (selected), 'Profile', 'Toolkit', and 'About'. Below the navigation bar is a header for 'Step2: Record Driver Information'. The main content area contains three input fields: 'License no:' with the placeholder 'Enter license number', 'First Name:' with the placeholder 'Enter first name', and 'Last Name:' with the placeholder 'Enter last name'. At the bottom, there are two buttons: 'Back' and 'Next'.

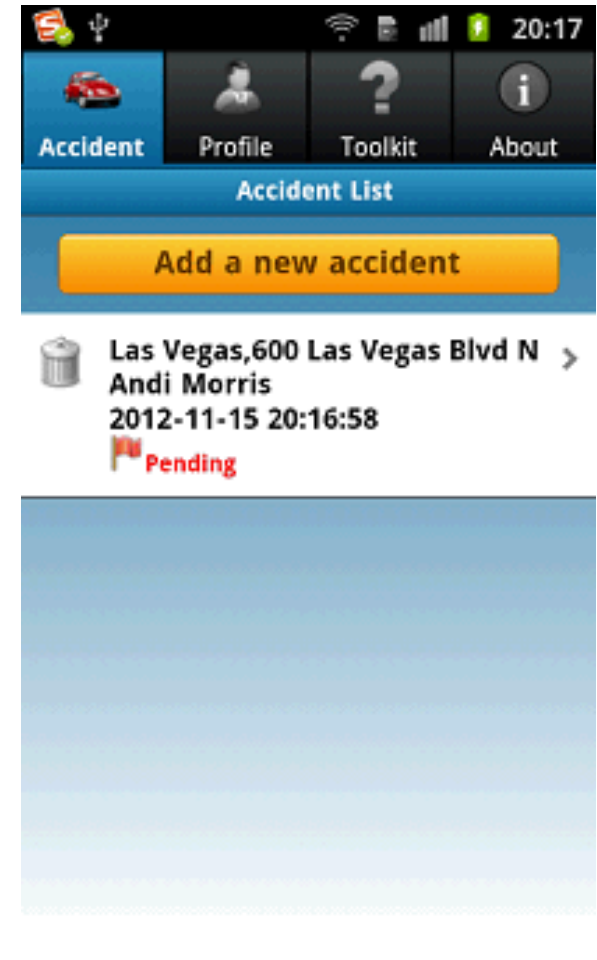
デモの探索: 事故 (Accident)

- ステップ 3: 事故の写真を撮影します。
 - 写真ボックスをクリックして、カメラ・アプリケーションに切り替えます。
 - 写真を撮影します。
 - 制御が「事故の写真を撮影 (Take Accident Photo)」ページに戻り、写真画像が表示されます。
 - オプションで、さらに写真を撮影します。
 - 「送信 (Submit)」をクリックして、作成済みの事故要求を IBM Worklight Server に送信します。



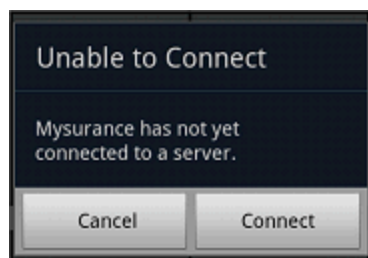
デモの探索: 事故 (Accident)

- 送信された事故要求が「事故リスト (Accident List)」ページに表示され、状況が「処理待ち (Pending)」になります。



デモの探索: 事故 (Accident)

- サービス URL が構成されていない場合は、警告メッセージ「Mysurance はまだサーバーに接続されていません (Mysurance has not yet connected to a server)」が表示されます。







- 「**接続 (Connect)**」をクリックして、Toolkit の「アプリケーション設定 (Application Settings)」ページにアクセスし、指示に従ってサービス URL を入力します。

デモの探索: 事故 (Accident)

- サーバー通知
 - 事故要求を送信した後で、Mysurance サーバーにアクセスして通知を送信します。
 - `http://<host>:<port>/mysurance/accident.html`
 - サブスクリプションを事前にオンにしておく必要があります。
 - IBM Worklight Server アドレスを設定します。
 - ユーザー要求リストからレポートを 1 つ選択します。
 - 「承認 (Approve)」 をクリックします。

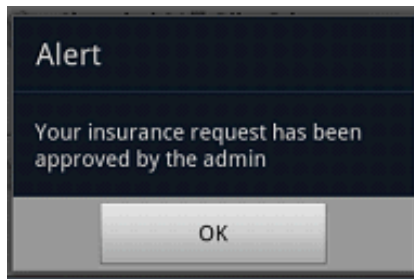
User Request List

Option	Id	User	Crash Scene	Customer's Car	Other Car	License Plate	Status
<input type="checkbox"/>	2	demo					Pending

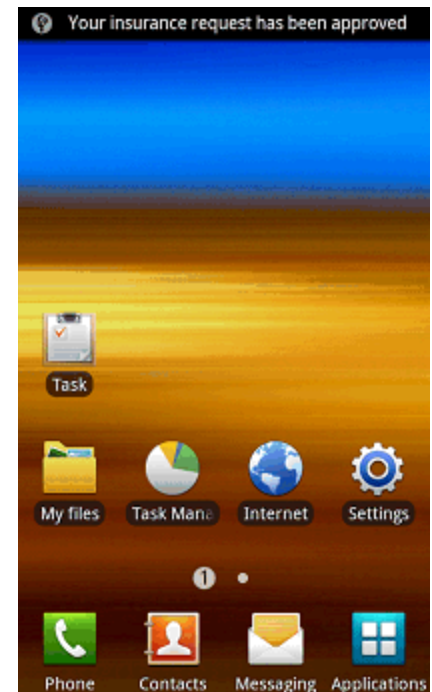
WorkLight Server Address:

デモの探索: 事故 (Accident)

- クライアント通知
 - 当該アプリケーションがフォアグラウンドで実行されている場合は、アラートが表示され、要求が承認されたことが通知されます。

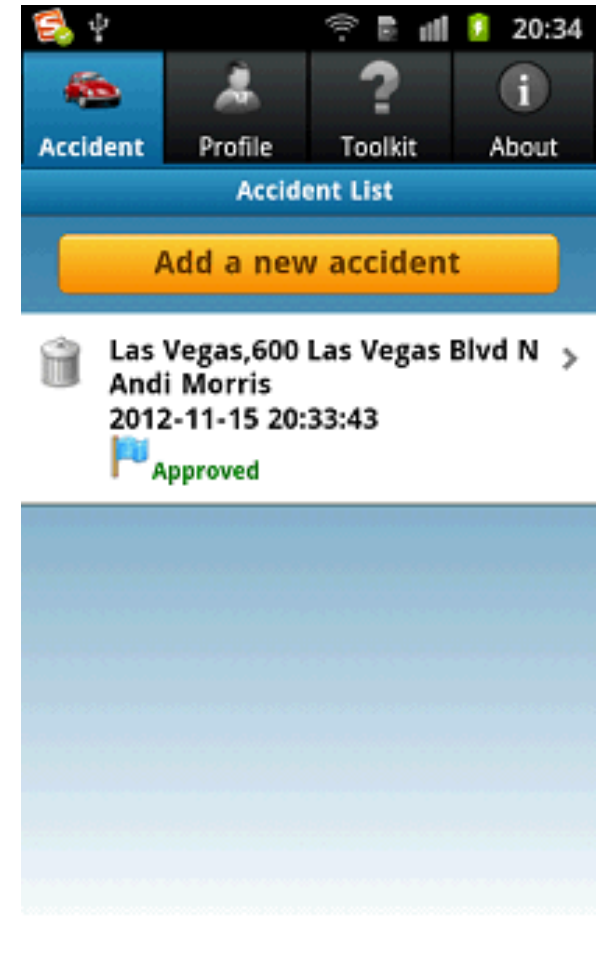


- 当該アプリケーションが実行されていない場合は、通知がステータス・バーに表示されます。
 - その通知をクリックして、当該アプリケーションをウェイクアップします。



デモの探索: 事故 (Accident)

- 「事故リスト (Accident List)」ページに表示されていた事故要求状況が「承認済み (Approved)」になります。



アジェンダ

- 一般情報
- Mysurance エンドツーエンド・サンプル (Android 用) の実行
- Mysurance エンドツーエンド・サンプル (iOS 用) の実行

始める前に

- showcase のビルド方法およびデプロイ方法について以下のモジュールを参照してください。
 - Worklight 開発環境のセットアップ
 - iOS 開発環境のセットアップ

始める前に

- **プッシュ通知を有効にします。**
 - プッシュ通知機能では、Apple Push Notification サービス (APNs) が使用されます。
 - 以下の手順を実行して、APNs を使用するように showcase を構成します。
 - iOS Provisioning Portal を使用して APNs 用にアプリケーションを構成します。
 1. iOS Provisioning Portal でアプリケーション ID を作成します。
 2. そのアプリケーション ID を APNs に対して有効にします。
 3. アプリケーション ID 固有のクライアントの Development Push SSL Certificate を生成します。
 4. ステップ 1 で作成したアプリケーション ID 用に APNs 対応のプロビジョニング・プロファイルを作成します。
 - APNs SSL 証明書をエクスポートします。
 5. ステップ 3 で生成した証明書を、ご使用の MAC 上にダウンロードします。
 6. その証明書 (.cer ファイル) をダブルクリックして Keychain で開きます。
 7. 「**My Certificates**」を展開して、自分の証明書を展開します。
 8. 証明書と秘密鍵を選択して Personal Information Exchange (.p12) ファイルとしてエクスポートします。
 - ファイル名は `apns-certificate-sandbox.p12` でなければなりません。
 9. パスワードを指定して証明書を保護します。
 10. `apns-certificate-sandbox.p12` を Worklight プロジェクトの `/apps/mysurance` フォルダー内に保存します。

始める前に

- Worklight Studio を構成します。
 11. application-descriptor.xml にある <ipad> セクションと <iphone> セクションを更新して、ステップ 9 で指定したパスワードを指定します。
 - <pushSender password="your_pwd"/>
 12. application-descriptor.xml の <ipad> エlementおよび <iphone> エlementの bundleId 属性を更新して、ステップ 1 で作成したアプリケーション ID に一致するようにします。
- プロジェクト設定を確認します。
 13. Xcode でプロジェクトを開きます。
 14. アプリケーション ID がステップ 1 で作成したアプリケーション ID と一致すること、およびアプリケーションのビルドと署名に正しいプロビジョニング・プロファイルが使用されていることを確認します。

既知の制限

この Showcase には既知の制限がいくつかあります。その制限を回避する方法について以下で説明します。

■ 画面の回転

- Apache Cordova では、デフォルトで画面の回転が無効になっています。
- 画面を自由に回転できるようにするには、以下の手順を実行します。
 - CDVMainViewController.m を編集します。
 - メソッド **shouldAutorotateToInterfaceOrientation** を更新して、生成されたネイティブ Xcode プロジェクトで **YES** が常に返されるようにします。

```
- (BOOL)shouldAutorotateToInterfaceOrientation:(UIInterfaceOrientation)interfaceOrientation
{
    // Return YES for supported orientations
    return (interfaceOrientation == YES);
}
```

■ 写真のサムネール

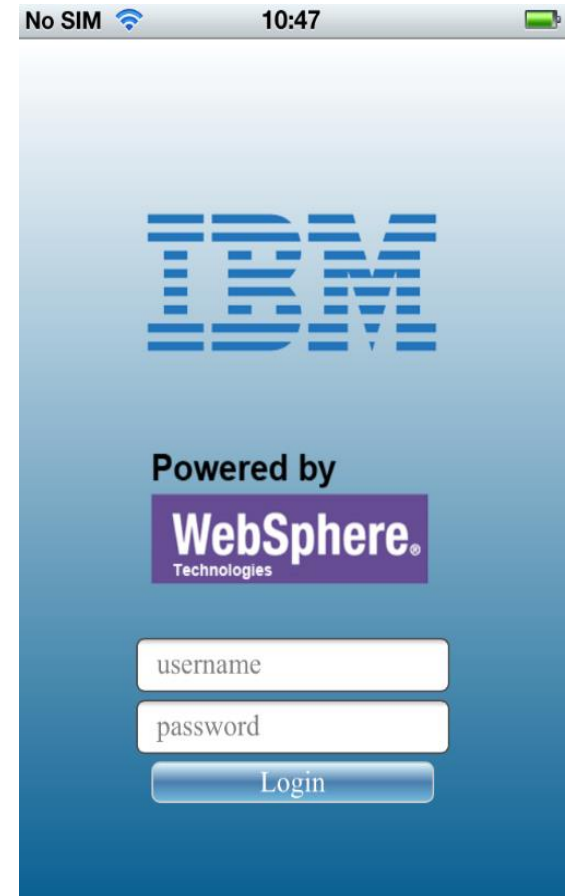
- 写真のサムネールはサーバー上の通知機能には表示されません。写真アップロード・ステップでファイル・パスの問題が発生するためです。
- この問題は将来のリリースで解決される予定です。

既知の制限

- アプリケーション・サーバーの始動
 - サーバーの始動時に `java.lang.NoClassDefFoundError` 例外がスローされます。この例外は無視してかまいません。
- 既知の制限について詳しくは、IBM Worklight Foundation のユーザー文書を参照してください。

デモの探索

- Mysurance showcase アプリケーションをロードします。
 - ログイン画面が表示されます。
- アプリケーションにログインします。
 - ユーザー名 = demo
 - パスワード = demo
- 「ログイン」をクリックします。
 - 主画面が表示されます。



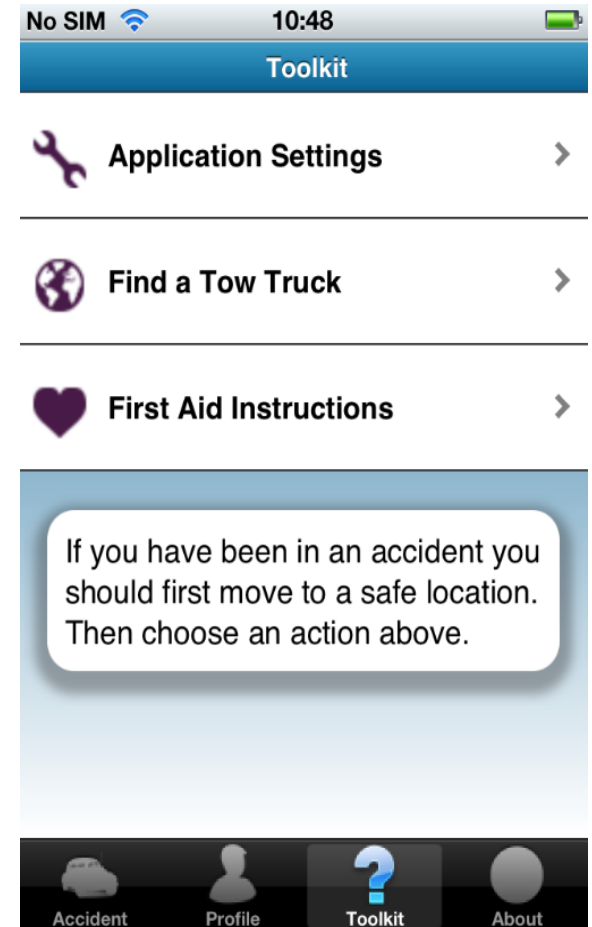
デモの探索

- 画面の上部にあるタブ・バーでは、各種デモ機能が区切られています。
- 機能は 4 つあります。
 - 概要
 - ツールキット (Toolkit)
 - プロファイル (Profile)
 - 事故 (Accident)
- 「このアプリケーションについて (About)」タブをクリックして、このアプリケーションに関する概要を読みます。



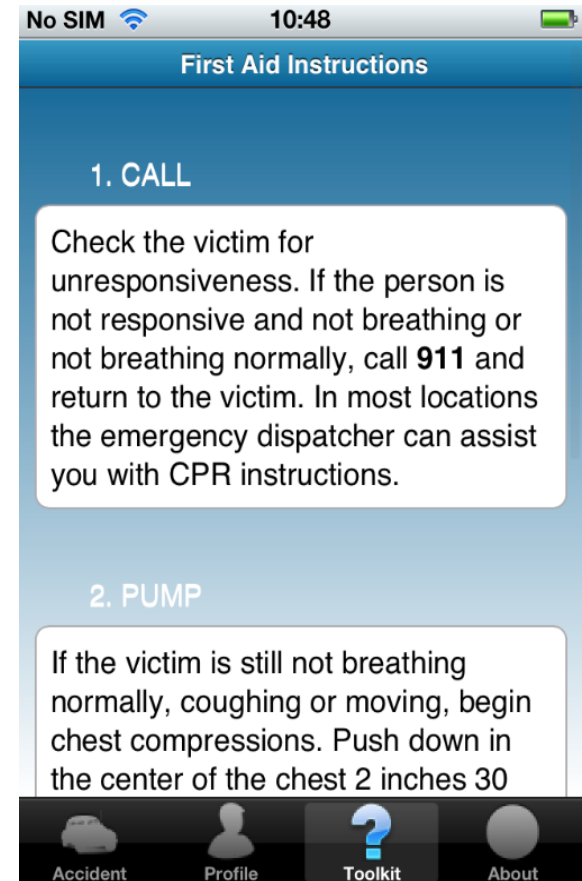
デモの探索: ツールキット (Toolkit)

- 「ツールキット (Toolkit)」タブをクリックします。
- 機能は3つあります。
 - アプリケーション設定 (Application Settings)
 - レッカー車を探す (Find a Tow Truck)
 - 応急処置の指示 (First Aid Instructions)



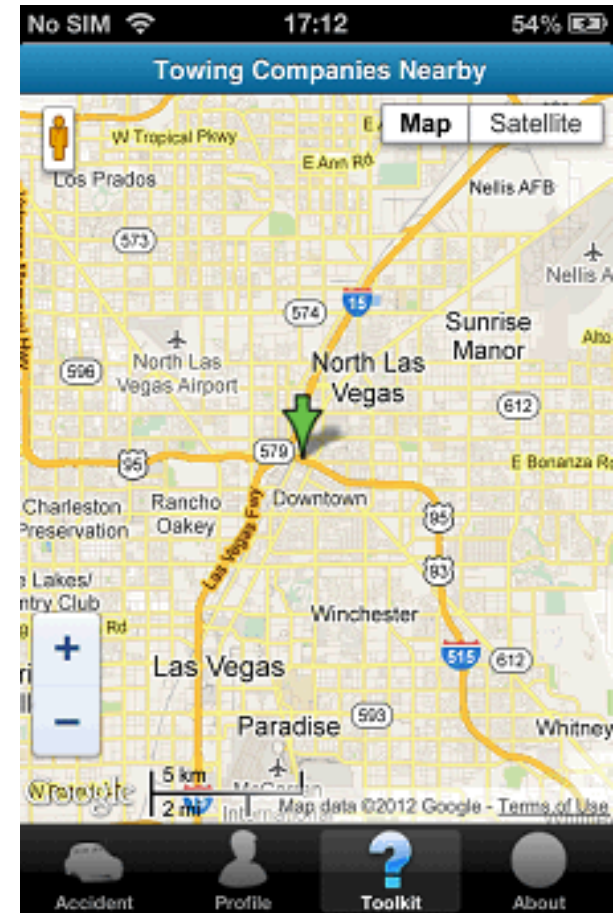
デモの探索: ツールキット (Toolkit)

- 「応急処置の指示 (First Aid Instructions)」をクリックします。
- 事故に巻き込まれたときに役立つ緊急情報や応急処置情報が表示されます。
- ビューがスクロール可能であることを確認します。



デモの探索: ツールキット (Toolkit)

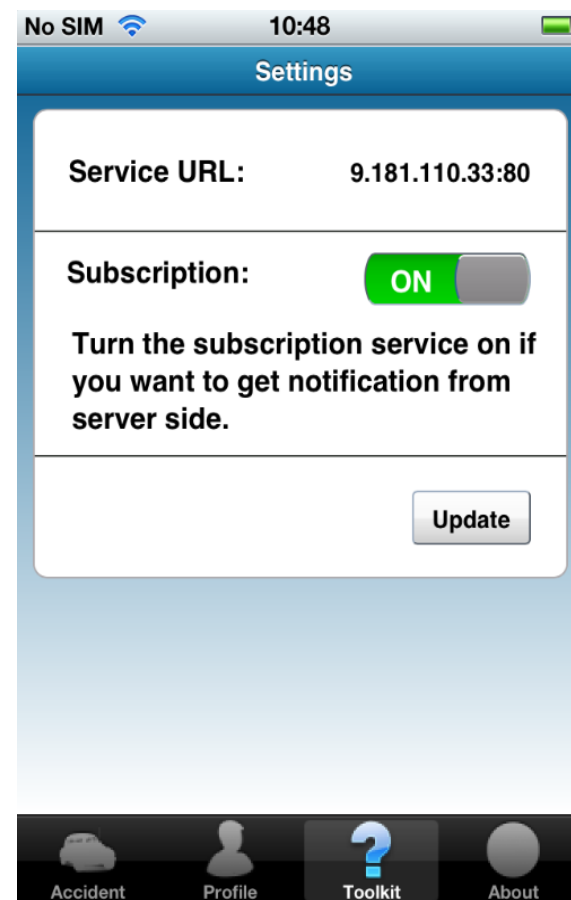
- 「レッカー車を探す (Find a Tow Truck)」 をクリックします。
- Google マップに現在位置が正しく特定され*、近くにレッカー移動サービス供給業者が正しく表示されることを確認します。



- * GPS または無線ベースのロケーション機能が動作していることが前提となります。現在位置を設定できない場合は、デフォルトで Las Vegas のマップが表示されます。

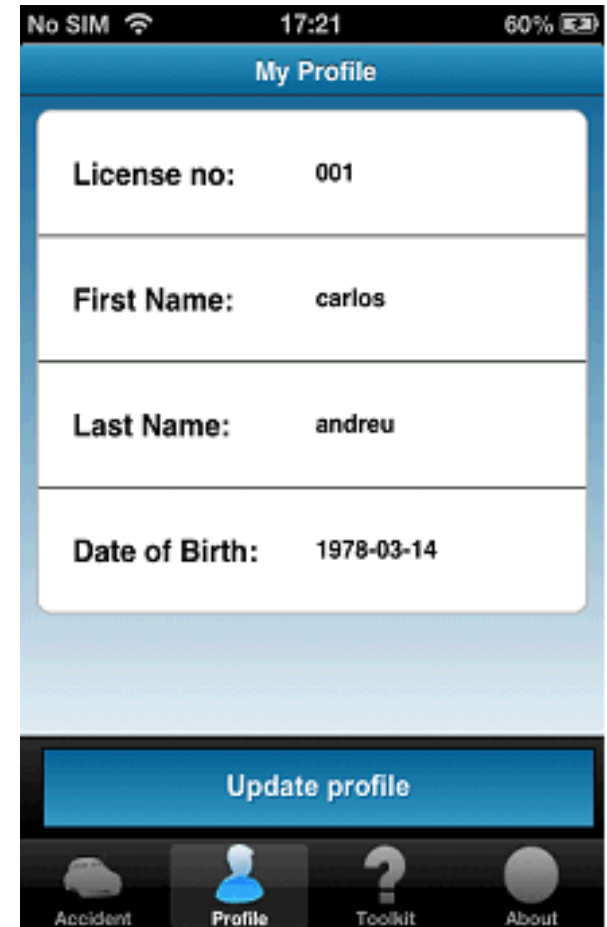
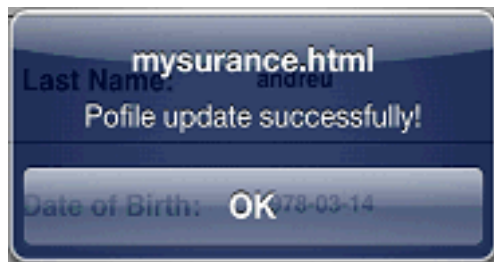
デモの探索: ツールキット (Toolkit)

- 「アプリケーション設定 (Application Settings)」をクリックします。
- 「サービス URL (Service URL)」フィールドに `<host>:<port>` の形式で正しい URL を入力します。
- 「サブスクリプション (Subscription)」スライダーを使用してサブスクリプションをオンにし、通知機能を有効にします。
- 「更新 (Update)」をクリックします。
 - 「サーバー・アドレスが `<host>:<port>` に設定されました (Server address set to `<host>:<port>`)」というメッセージが表示されます。
 - この URL が無効の場合は、「ホストにアクセスできません (host not reachable)」というメッセージが代わりに表示されます。



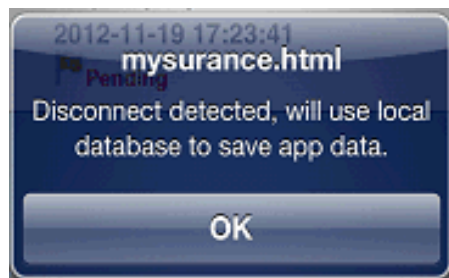
デモの探索: プロファイル (Profile) – オンライン・モード

- 「プロフィール (Profile)」 タブをクリックします。
 - IBM Worklight Server から既存のプロファイルが自動的にロードされます。
- 取得したプロフィール・データは更新できます。
 - 任意のプロフィール・フィールドを編集して、「プロフィールの更新 (Update profile)」 をクリックします。
- そのプロフィール・データが IBM Worklight Server 上で即時に更新されます。

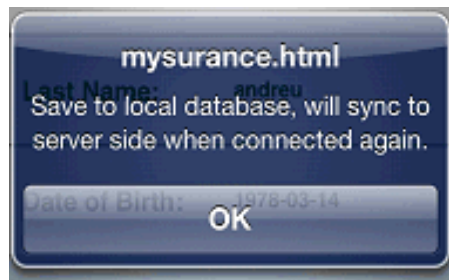


デモの探索: プロファイル (Profile) – オフライン・モード

- WiFi をオフにして、アプリケーションをオフラインにします。
 - アラートが表示され、データがローカル・データベースに直ちに保存されることが通知されます。

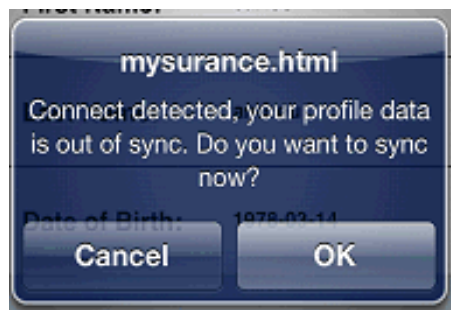


- 任意のプロファイル・フィールドを編集して、「プロファイルの更新 (Update profile)」をクリックします。
 - アラートが表示され、データがローカル・データベースに保存されたことが通知されます。

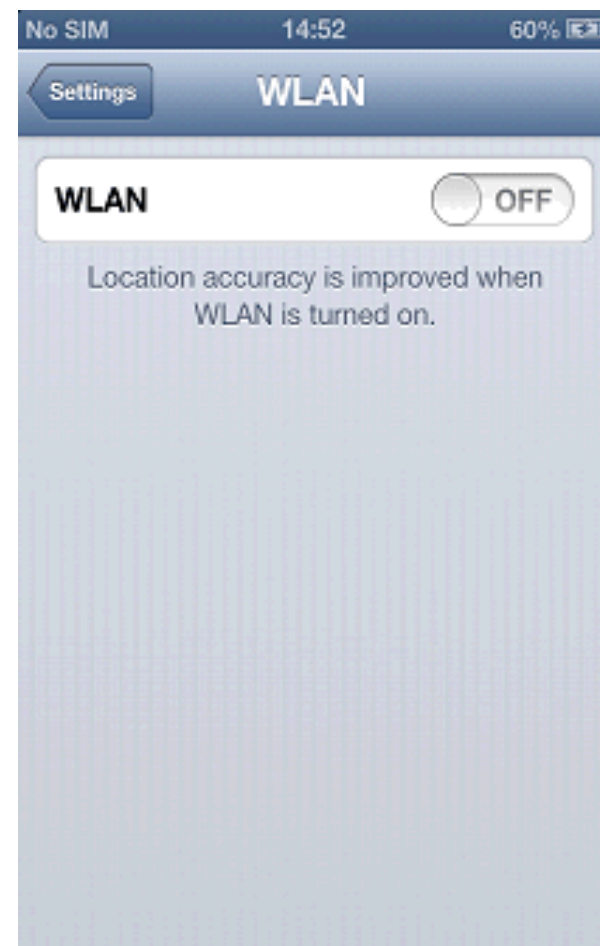
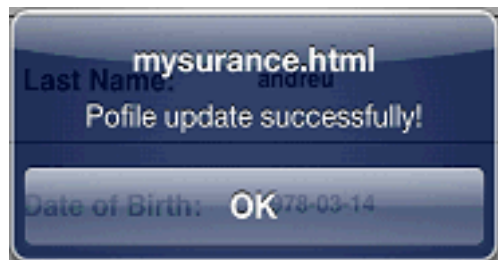


デモの探索: プロファイル (Profile) – オフライン・モード

- WiFi をオンに戻して、アプリケーションを再びオンラインにします。
 - アラートが表示され、オンライン接続が検出されたことが通知されます。

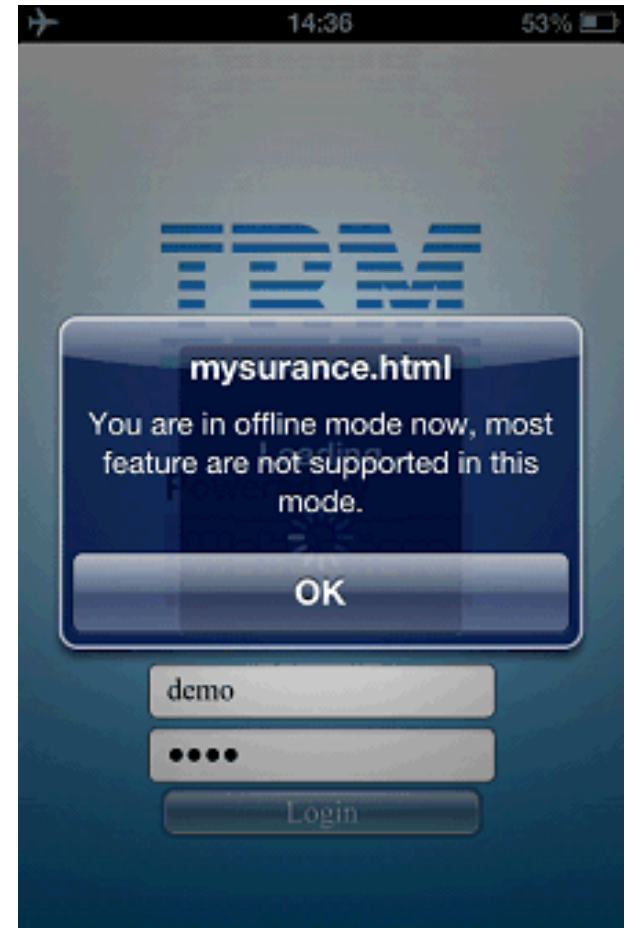


- 「OK」をクリックして、ローカル・データを IBM Worklight Server と同期します。
 - アラートが表示され、プロフィール・データが IBM Worklight Server で更新されたことが通知されます。



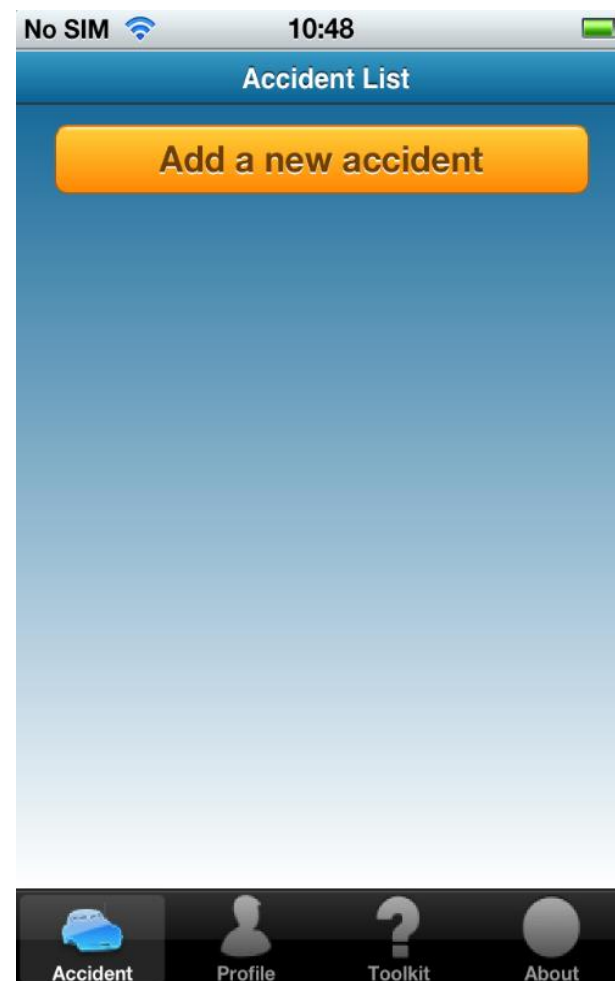
デモの探索: プロファイル (Profile) – オフライン・モード

- アプリケーションの開始時に WiFi がすでにオフになっている場合は、アラートが表示され、アプリケーションがオフライン・モードになっていることが通知されます。
- ここで、前述の説明と同じ手順に従います。
 - 任意のプロファイル・フィールドを編集して、「**プロファイルの更新 (Update profile)**」をクリックします。
 - WiFi をオンに戻して、アプリケーションを再びオンラインにします。
 - 「**OK**」をクリックして、ローカル・データを IBM Worklight Server と同期します。



デモの探索: 事故 (Accident)

- 「事故 (Accident)」 タブをクリックします。
 - この機能では、事故要求を作成して送信するために必要となる手順がすべて表示されます。
- 「新しい事故の追加 (Add a new accident)」 をクリックして、処理を開始します。



デモの探索: 事故 (Accident)

- ステップ 1: 事故現場を記録します。
 - 事故現場の詳細を手動で入力します。
 - または、「**現在位置の取得 (Retrieve Current Location)**」をクリックして現在位置を取得します*。
 - 「**次へ (Next)**」をクリックして、ステップ 2 に進みます。

- * GPS または無線ベースのロケーション機能が動作していることが前提となります。現在位置を設定できない場合は、デフォルトで Las Vegas の場所が表示されます。

The screenshot shows a mobile application interface for recording an accident location. The title bar at the top reads "Step1: Record Accident Location". The interface is divided into several sections:

- Street:** 600 Las Vegas Blvd N
- City:** Las Vegas
- State:** Nevada (with a dropdown arrow)
- Zip:** 89101

Below the input fields is a button labeled "Retrieve Current Location". At the bottom of the screen, there are two large blue buttons: "Back" and "Next". Below these are four smaller icons with labels: "Accident" (cloud icon), "Profile" (person icon), "Toolkit" (question mark icon), and "About" (circle icon).

デモの探索: 事故 (Accident)

- ステップ 2: 運転手情報を記録します。
 - 運転手情報を入力します。
 - 「次へ (Next)」をクリックして、ステップ 3 に進みます。

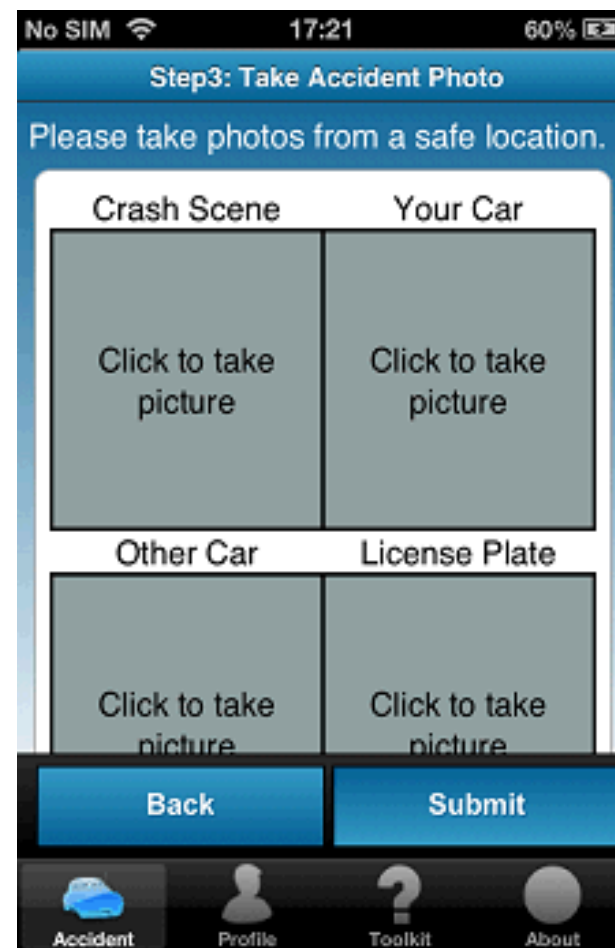
The screenshot shows a mobile application interface for recording driver information. The status bar at the top indicates "No SIM", signal strength, Wi-Fi, time "13:49", and battery level "53%". The app title is "Step2:Record Driver Information". The form contains three input fields:

License no:	Enter license number
First Name:	Enter first name
Last Name:	Enter last name

At the bottom, there are two buttons: "Back" and "Next". Below the buttons is a navigation bar with four icons: "Accident" (car icon), "Profile" (person icon), "Toolkit" (question mark icon), and "About" (circle icon).

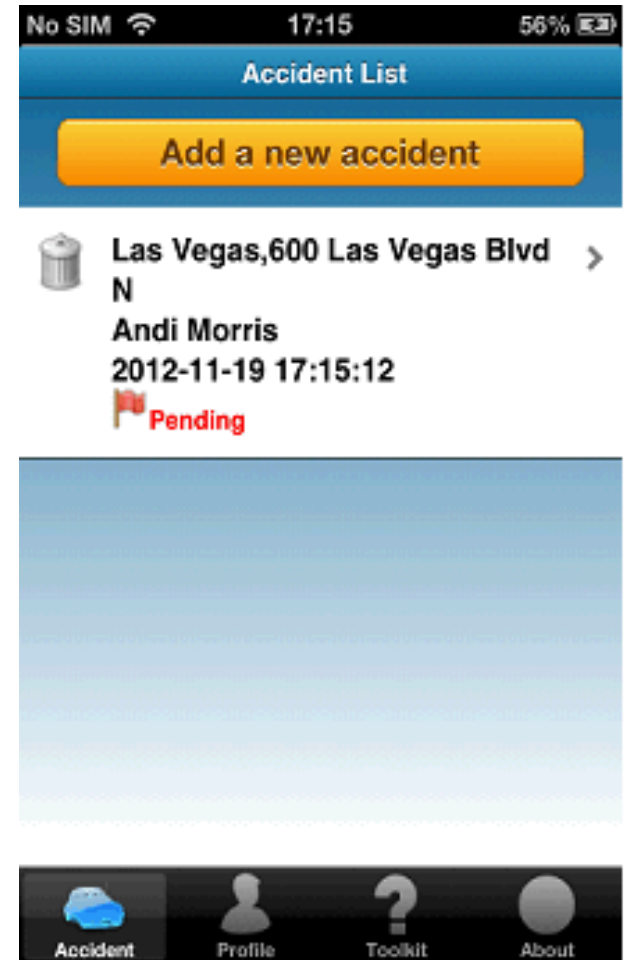
デモの探索: 事故 (Accident)

- ステップ 3: 事故の写真を撮影します。
 - 写真ボックスをクリックして、カメラ・アプリケーションに切り替えます。
 - 写真を撮影します。
 - 制御が「事故の写真を撮影 (Take Accident Photo)」ページに戻り、写真画像が表示されます。
 - オプションで、さらに写真を撮影します。
 - 「送信 (Submit)」をクリックして、作成済みの事故要求を IBM Worklight Server に送信します。



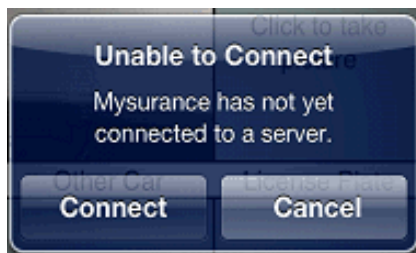
デモの探索: 事故 (Accident)

- 送信された事故要求が「事故リスト (Accident List)」ページに表示され、状況が「処理待ち (Pending)」になります。



デモの探索: 事故 (Accident)

- サービス URL が構成されていない場合は、警告メッセージ「Mysurance はまだサーバーに接続されていません (Mysurance has not yet connected to a server)」が表示されます。







- 「**接続 (Connect)**」をクリックして、Toolkit の「アプリケーション設定 (Application Settings)」ページにアクセスし、指示に従ってサービス URL を入力します。

デモの探索: 事故 (Accident)

- サーバー通知
 - 事故要求を送信した後で、Mysurance サーバーにアクセスして通知を送信します。
 - `http://<host>:<port>/mysurance/accident.html`
 - サブスクリプションを事前にオンにしておく必要があります。
 - IBM Worklight Server アドレスを設定します。
 - ユーザー要求リストからレポートを 1 つ選択します。
 - 「承認 (Approve)」 をクリックします。

User Request List

Option	Id	User	Crash Scene	Customer's Car	Other Car	License Plate	Status
<input type="checkbox"/>	2	demo					Pending

WorkLight Server Address:

デモの探索: 事故 (Accident)

- クライアント通知

- 当該アプリケーションがフォアグラウンドで実行されている場合は、アラートが表示され、要求が承認されたことが通知されます。

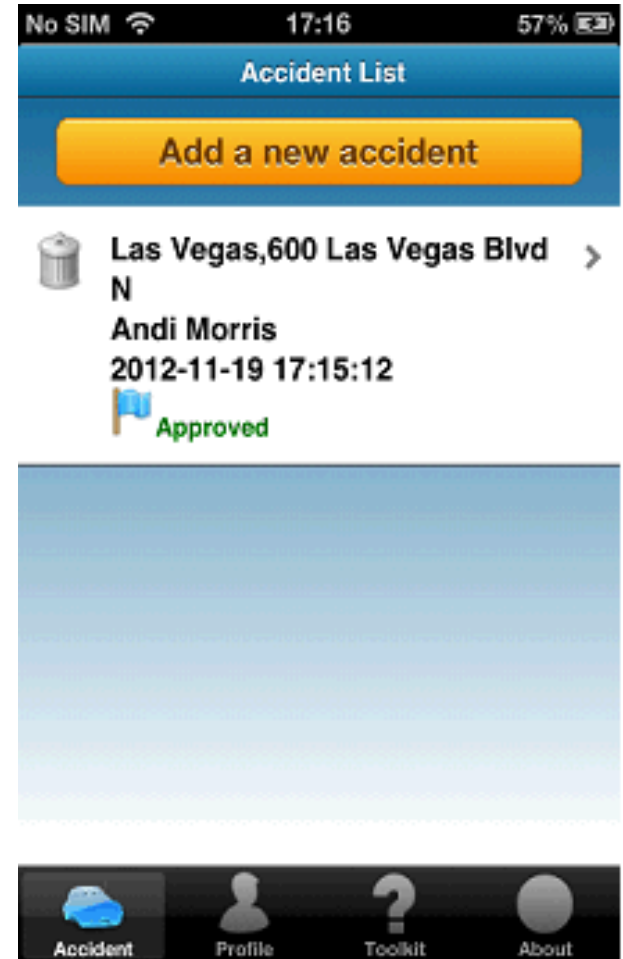


- 当該アプリケーションが実行されていない場合は、通知がステータス・バーに表示されます。
 - その通知をクリックして、当該アプリケーションをウェイクアップします。



デモの探索: 事故 (Accident)

- 「事故リスト (Accident List)」ページに表示されていた事故要求状況が「承認済み (Approved)」になります。



特記事項

- これらの資料は、以下のご使用条件に同意いただける場合に限りご使用いただけます。
- 本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。
- 本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、または サービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。
- IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権（特許出願中のものを含む）を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。
 - 〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外
- 以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。
- この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。
- 本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してこれらの Web サイトを推奨するものではありません。これらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。これらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。
- IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。
- 本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム（本プログラムを含む）との間で情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。
 - IBM Corporation
Dept F6, Bldg 1
294 Route 100
Somers NY 10589-3216
USA

- 本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。
 - 本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。
 - IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、これらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお問い合わせください。
- 著作権使用許諾:**
- 本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。
 - それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。
 - © (お客様の会社名) (西暦年) このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。© Copyright IBM Corp. _年を入れる_ All rights reserved.

プライバシー・ポリシーの考慮事項

- サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie ははじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項を確認ください。
- このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、(アプリケーション・サーバーが生成する) セッション情報を収集するセッションごとの Cookie を使用する場合があります。これらの Cookie は個人情報を含まず、セッション管理のために要求されるものです。加えて、匿名ユーザーの認識および管理のために持続的な Cookie が無作為に生成される場合があります。これらの Cookie も個人情報を含まず、要求されるものです。
- この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれには限られません。このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の「クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー」および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』(<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy/>) を参照してください。

サポートおよびコメント

- IBM Worklight の一連の文書、トレーニング資料、および質問をポストできるオンライン・フォーラムはすべて、次の IBM Web サイトからご覧になれます。
 - <http://www.ibm.com/mobile-docs>
- サポート
 - ソフトウェア・サブスクリプション & サポート (ソフトウェア・メンテナンスと呼ばれる場合もあります) は、パスポート・アドバンテージおよびパスポート・アドバンテージ・エクスプレスから購入されたライセンスに含まれています。International Passport Advantage Agreement および IBM International Passport Advantage Express Agreement の追加情報については、次のパスポート・アドバンテージ Web サイトを参照してください。
 - <http://www.ibm.com/software/passportadvantage>
 - ソフトウェア・サブスクリプション & サポートが有効になっている場合、IBM は、インストールおよび使用法 (ハウツー) に関する短期間の FAQ に対するサポートや、コード関連の質問に対するサポートを提供します。詳しくは、次の IBM ソフトウェア・サポート・ハンドブックを参照してください。
 - <http://www.ibm.com/support/handbook>
- ご意見
 - 本資料に関するご意見をお寄せください。本資料の具体的な誤りや欠落、正確性、編成、題材、または完成度に関するご意見をお寄せください。
 - お寄せいただくご意見は、本マニュアルまたは製品の情報、およびその情報の提示方法に関するもののみとしてください。
 - 製品の技術的な質問および情報、および価格については、担当の IBM 営業所、IBM ビジネス・パートナー、または認定リマーケターにお問い合わせください。
 - IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。IBM またはいかなる組織も、お客様から提示された問題についてご連絡を差し上げる場合にのみ、お客様が提供する個人情報を使用するものとします。
 - どうぞよろしく願います。
 - 次の IBM Worklight Developer Edition サポート・コミュニティにご意見をお寄せください。
 - <https://www.ibm.com/developerworks/mobile/worklight/connect.html>
 - IBM からの回答を希望される場合は、以下の情報をご連絡ください。
 - 氏名
 - 住所
 - 企業または組織
 - 電話番号
 - E メール・アドレス

ありがとうございました

